

令和元年度 勝山中学校 自己評価及び学校関係者評価書

学校の教育目標	志を持って学び未来を切り拓く人間力を持つ生徒の育成	自己評価					学校関係者評価	
本年度の重点目標	○キャリア教育の推進と学力向上	4	90%達成 とてもよい				学校関係者評価委員の人数(5)人 学校評議員4名(PTA会長含む)+PTA母親代表	学校関係者評価は、学校の自己評価が適切かどうかを学校関係者評価委員の皆様にご評価していただくものです。「適切」あるいは「不適切」と評価した人数をそれぞれの
	○社会性の育成(思いやり・挨拶・礼儀・言葉遣い・コミュニケーション能力・規範意識・集団所属意識の醸成)	3	70%達成 よい					
	○道徳教育の推進	2	60%達成 まあまあ					
		1	60%以下 いいえ					
重点目標	評価項目	生徒	職員	保護者	評価	結果(成果と課題)	評価	学校関係者評価委員からのコメント
確かな学力	学習規律が保たれ、集中できる環境を維持している。	3.5	3.5	3.3	3	○数学・英語を中心にTT授業を行っている。また、各学年で低学力の克服に向けて試験前等の放課後等の補充学習に取り組んでいる。委員会活動とは別に英単・漢字コンクールに全校で取り組んだ。 ○「書く」活動を重視した授業に取り組み、考査問題にも「書く」問題を導入し、思考力・判断力・表現力の向上を目指している。 ○家庭学習を計画的に実施させるために週末課題や自学ノートの取組が定着してきた。 △学習意欲の向上のためにキャリア教育と連携した学習活動を計画的に実施していく必要がある。	自己評価は適切 5人	前期と比べ、学力向上への取り組みが進んでいる。学習の取り組みが生徒のポイントが高い項目が多いので、良い。
	わかりやすい授業づくりや工夫がなされている。	3.7	3.3	3.3	3		自己評価は不適切 0人	
	生徒が学習内容を理解し基礎的な学力を身につけている。	3.7	3.4	3.3	3			
	体験的な学習や問題解決的な学習がなされている。	3.6	2.9	3.2	3			
	宿題、予習・復習など家庭学習が計画的に行われている。	3.6	3.3	3.2	3			
豊かな心	生徒は学校生活を楽しく安心して送っている。	3.6	3.4	3.5	3	○生徒は元気に登校し明るい表情で学校生活を送っている。 ○清掃時間においては、全職員で生徒と共に清掃活動に当たっている。 ○生活アンケートや自学ノートでの教師との連絡欄を活用し、安心できる学校生活作りを継続して行う。 △日々目標を持って学校生活をおくれるように、自分の将来について考えるキャリア教育の充実が必要である	自己評価は適切 5人	生徒の自己評価が高いことは良いことだと思う。
	生徒は目標を持って学校生活を送っている。	3.3	2.9	3.0	3		自己評価は不適切 0人	
	生徒は清掃や奉仕活動に進んで取り組んでいる。	3.6	3.4	3.2	3			
	生徒には学級の一員として活躍する場が与えられている。	3.5	3.4	3.2	3			
	生徒は気持ちのよい挨拶ができる。	3.6	3.2	3.2	3			
健やかな体	生徒は規則正しい生活(早寝・早起・朝ご飯)が送れている。	3.3	2.7	2.8	3	○部活動において顧問や外部指導者の指導の下、放課後のみならず休日においても熱心に練習や活動に取り組んでおり生徒達の満足度も高い。また、キャプテン会議も定期的実施している。 ○月初めの日を「施設設備点検日」として組織的に点検を確実に実行している。 △規則正しい生活が送れていない生徒がおり、生徒の意識が大人と離れている。	自己評価は適切 5人	家庭での規則正しい生活を送るように注意喚起することが課題だと考えられる。生徒の自己評価が適切になるように自覚をさせていく必要があるのでは。点検整備の定期的実施を文書等を通じて保護者に情報発信する必要がある。
	生徒にとって部活動は楽しく充実したものになっている。	3.6	3.1	3.4	3		自己評価は不適切 0人	
	食育や健康教育の充実が図られている。	3.5	3.1	3.2	3			
	校舎や設備の点検・整備が定期的に行われている。	3.5	3.9	3.1	3			
信頼される学校づくり	学校は、家庭や地域へ積極的に情報を発信している。	3.6	3.5	3.1	3	○学校・学年・学級ともに定期的に通信を発行し学校の様子を家庭に伝えている。また、HP等にも主な行事の連絡事項を掲載し、緊急連絡等ではメール等の活用もしている。 △地域への積極的な情報発信を積極的に行っていく必要がある。 △教師・保護者が連携を蜜に取りながら、これからも信頼される学校教育を目指して取り組んでいく必要がある。	自己評価は適切 5人	保護者への情報発信をより多く行い、より信頼関係を高めるとよい。いじめのない明るい学校づくりの取り組みができています。
	学校は、生徒や保護者、地域の声を聞く機会を設けている。	3.4	3.3	3.1	3		自己評価は不適切 0人	
	いじめのない明るい学級・学校づくりに努めている。	3.7	3.6	3.2	3			
	問題の解決に保護者や地域と連携をとりながらあたっている。	3.6	3.4	3.1	3			
	生徒や保護者の悩みや相談に親身になって応じている。	3.7	3.6	3.4	3			